

Q 3

家庭訪問を続けるうちに、子供が会ってくれるようになりましたが、その際、どのようなことを話題にしたらよいものでしょうか。

A 家庭訪問での話題

-《基本的理解と対応1》.....
- 子供との話題を考える際には、今、その子供がどの状態にあるかによって判断します。
 - 子供の様々な状態に応じて、話題や過ごし方を考えてみます。
 - 子供が学校のことを考えたくないという段階では、できるだけ学校に関する話題は避けるようにし、子供の興味や関心のあることなどを話題にします。
 - 話すことが苦手な子供の場合は、無理に話をするよりも一緒にゲームや簡単なスポーツなどをする方が効果的なようです。
-



《子供への言葉掛けの例》～子供とのきっかけづくりのために～

- ・「プラモデル作ったの？なかなか、かっこいいね。先生も一緒にやってみたいな。」
- ・「他にも作っているのがあるの？よかったら見せてくれない？」
- ・「おっ、新しいゲーム買ったんだね。どんなゲーム？先生にも教えてくれないかな。」
- ・「お母さんに教えてもらいながら、縫いぐるみ作ってるそうだね。これ？かわいいね。」
- ・「最近テレビで、サッカーの試合をよく見てるんだってね。君、どこのファンなの？」

-《基本的理解と対応2》.....
- 子供の状態が徐々に改善され、学校に対して抵抗感がなくなってきたと判断されるときは、学校や学習のことなどの話題に触れていきます。
 - 不登校の子供たちの多くは学習の遅れを気にしているので、学習の遅れを補うための学級担任や教科担任のかかわりが大切です。
 - 学習へのやる気を見せ始めたときに、得意な教科からスタートすることは、本人にとっても取り組みやすく、効果的なようです。
-

《子供への言葉掛けの例》～学習に意欲を見せ始めた子供へのかかわり～

- ・「最近、勉強始めたそうだね。分からないところがあったら聞いてね。」
- ・「漢字、とってもきれいに書いてるね。国語、得意だね。」
- ・「また、やったところを見せてもらうのを楽しみにしてるよ。」